

## 日本臨床救急医学会認定 PEMEC コース開催要項

2020 年度（2020 年 7 月～2021 年 3 月）に PEMEC コース開催を希望する場合は本要項に従うものとする。

### ・申請

2020 年度（2020 年 7 月～2021 年 3 月）に PEMEC コースの開催を希望する者・団体（以下、開催申請者）は、PEMEC コース開催申請書に必要事項を記入し、2020 年 3 月末までに日本臨床救急医学会 PEMEC 検討小委員会事務局（以下事務局）に申請する。

### ・会場

開催会場は開催申請者が確保する。会場は、講義室と、6 ブースの模擬活動を行うことができるスペース、を確保できる場所であること。

### ・開催日

2020 年 7 月～2021 年 3 月の期間内とする。

PEMEC コース開催申請書に記載された候補日のなかから、事務局が 2020 年 4 月末までに調整・決定する。

### ・開催申請者

開催申請者には、特に資格条件を課さない。

### ・コースディレクター(CD)

PEMEC 検討小委員会委員（以下委員）であること。

### ・コースコーディネーター(CC)

インストラクターであること。

CD、CC のいずれかは医師であること。申請時には CD・CC とも決定していることが必須である。

### ・インストラクター

委員 1 名以上およびマスターインストラクター 5 名以上（CD・CC 兼任可）を含めること。

各ブースは、2 名以上のインストラクターが必須で、うち 1 名はマスターインストラクターであること。タスクを含め各ブース 3 名以上とするとする。

### ・タスク

各ブースのインストラクターが 3 名に満たない場合にはタスクを配してもよい。

タスクの資格条件はない。シナリオでは傷病者あるいは関係者のみを担当できる。

### ・受講資格

医師・看護師・救急救命士・消防職員であること。またそれらの養成校の最終学年生であること。

#### ・受講生定員

1 コース 18 名とする。受講応募者が多いと予測される場合には、CD・CC・開催申請者の役割を共通とし、必要な会場を確保したうえで、開会・修了・講義・ポストテストを合同で行う並列コースを企画してもよい。この場合も各コースの受講生は 18 名、インストラクターも 12 名以上（マスターインスト 6 名以上を含む）とする。各ブースの指導者はタスクを含め 3 名であること。

#### 例) 第 3 回京都橋コース A

開催日 2020 年 12 月 28 日 CD：救急救命士 福岡（委員）、CC：医師 西本、開催申請者：久保山

#### 第 3 回京都橋コース B

開催日 2019 年 12 月 28 日 CD：救急救命士 福岡、CC：医師 西本、開催申請者：久保山

#### ・オブザーバー

CD が認める消防職員以外に地域で MC に関わる医師等をオブザーバーとして参加させてもよい。オブザーバーは講義を受講し、模擬活動の隊員役のみを行える。ポストテストの受験は必須ではない。1 コース 6 名までとする。オブザーバーは受講料を支払い、プログラム開始から終了まで参加することで、修了証を授与される。

#### ・受講費

5,000 円とする。このうち、1 人当たり 2000 円を認定料として事務局に納める。

#### ・運営補助金

開催費用を調達するために運営補助費として、適宜開催者が受講生に請求してもよい。領収書は、受講費 5000 円（内認定料 2000 円）と運営補助費を別項として記載する。

#### ・受講生の選定

CD および CC が応募方法も含め決定する。必ずしも公募する必要はない。

ホームページより公募する場合、CD、CC、あるいは開催申請者が開催の 3 か月前までに事務局に依頼し、事務局がホームページに掲載を行う。公募の場合、採用通知は事務局が行う。

#### ・教材・物品等

コースで使用する教材および物品等は開催申請者が準備する。

#### 【開催申請者が準備する物品】

##### 講義室物品

- ・テーブルおよび椅子（18 名分）
- ・プロジェクター
- ・ポインター（必要時）
- ・マイク（必要時）

##### ブース物品（各ブースにつき）

- ・ストレッチャーもしくはテーブル
- ・椅子 6 脚

- ・アルゴリズムパウチ(必要時)
- ・観察セット(聴診器・SpO2 モニター・体温計・血圧計・酸素マスク・輸液セット・記録用紙あるいはA4 サイズホワイトボード・マジック・クリーナー・モニターなど)

**【事務局より送付する物品】**

- ・修了証
- ・インストラクター実績証
- ・アンケート用紙
- ・マスターインストラクター推薦書
- ・ポストテスト
- ・デモ動画(USB)
- ・返信用封筒(アンケート用とアンケート以外用)

・昼食

インストラクター(委員、マスターインストラクター、インストラクター)の昼食は開催申請者が支給する。受講生の昼食については、開催申請者が決定する。(受講生各自に準備させても良い)

・エイドステーションの設置

必須ではないが、設ける場合は飲料・お菓子類は適宜開催申請者が支給する。

・交通・宿泊費

委員およびマスターインストラクターの交通宿泊費は開催申請者が支給する。

その他のインストラクター、タスクの交通費については、支払いの有無を開催申請者が決定する。インストラクターを公募する場合、人選にあたって費用負担の少ないように配慮しても構わない。

**【予算例】**

収入	5,000 円×18 人=90,000 円 (受講費)
支出	2,000 円×18 人=36,000 円 (認定料)
	40,000 円×6 人=240,000 円 (世話人・マスターインスト交通宿泊費)
	2,000 円×12 人=24,000 円 (上記以外のインスト交通費)
	1,000 円×18 人=18,000 円 (昼食)
	20,000 円 (会場費)
合計	338,000 円

開催申請者より 248,000 円の支出が必要となる(この資金については、受講生より運営補助費として徴収することも可)

2020 年 1 月 6 日

日本臨床救急医学会認定 PEMEC 検討小委員会